

各小中学校教育相談担当者宛アンケート 結果

教育相談ご担当の先生へ

お忙しい中、大変恐縮ですが、何卒アンケートへのご協力をよろしくお願い申し上げます。

項目		回答数	割合(%)
1	「みえ不登校支援ネットワーク」(平成22年度、文部科学省からの委託研究事業)をご存知ですか?		
	A	はい	128 83.1
	B	いいえ	25 16.2
	回答なし		1 0.6
2	「みえ不登校支援ネットワーク」の小冊子「つながる安心と育ち」を、昨年の11月末頃に貴校に送らせていただきました。小冊子をどのように扱われたのか、お聞かせください。(該当する答えに丸印をしてください)		
	A	校内の回覧にまわした	118 76.6
	B	保護者・子どもに届けた	26 16.9
	C	特に何もしていない	11 7.1
	D	小冊子のことを知らない	8 5.2
	E	その他	7 4.5
	コメント		(14) -
3	ホームページ(パソコン用サイト、携帯サイト)をご覧になりましたか?(該当する答えに丸印をしてください。複数回答可)		
	A	パソコン用サイトを見た(http://www.mie-futoko.net)	49 31.8
	B	携帯用サイトを見た(http://www.mie-futoko.net/m)	0 0.0
	C	見ていない	105 68.2
4	不登校の子どもたちのために、このような不登校支援ネットワークが必要だと思いますか?(該当する答えに丸印をしてください。)		
	A	必要である	149 96.8
	B	必要でない	0 0.0
	C	その他	5 3.2
コメント		(3) -	
5	不登校相談を受けた場合、小冊子「つながる安心と育ち」を保護者の方に渡され、「みえ不登校支援ネットワーク」をご紹介したいとお考えでしょうか?(該当する答えに丸印をしてください)		
	A	はい	140 90.9
	B	いいえ	9 5.8
	回答なし		5 3.2
	(コメント)		(6) -
6	5で「いいえ」とお答えになった方へ、その理由をお聞かせください。(該当する答えに丸印をしてください。複数回答可)		
	A	学校内で対応すべきと考えているから	0 -
	B	保護者・子どもに多くの情報は必要ないと思うから	1 -
	C	本人や保護者との関係がこじれそうな気がするから	0 -
	D	その他	9 -
コメント		(10) -	
7	「みえ不登校支援ネットワーク」に対して、ご要望がございましたらご記入ください。		(26) -

重複あり

送付数	565
返信数	154
返信率(%)	27.3

割合 = 100 × (回答数 / 返信数)

2011年1月28日メール便にて発送
2011年2月7日までにFAXでの回答をお願いしました。

各小中学校教育相談担当者宛 アンケート 結果 コメント一覧

質問項目	内容
2	必要時にいつでも児童・保護者に渡せるよう職員室前の壁に袋を貼り付け、その中に入れてある。
	保護者1名に届けた
	回覧の後、保管しています
	不登校児童のいるクラス担任に渡した
	必要な時に使うために保管してある
	スクールカウンセラーによるカウンセリングに活用してもらった
	保護者に紹介した
	担当者が読み、保管
	対象の保護者
	学年部に一冊配布し活用
	担任に渡し利用してもらうように伝えた
	生徒支援委員会のメンバーに渡し、不登校の生徒がいる担任の先生にも渡した
	廊下に掲示
一部の保護者	
4	必要とそうでない場合がある 各家庭にそれを克服しようという思いがあるか否か
	内容がまだしっかり把握できていないので
	まだ、評価できない状況です。地域の適応教室や支援団体との連携もまだ、未整理の状態にあって、段階を踏んでつながりたい。
5	子ども、保護者の状況により異なる
	外部に相談したいという希望があれば
	ケースによる
	その子の状況による(学校や家庭で対応できるようであれば必要ないが、長引くようで垂れべ必要だと思う)
	但し、まずは校内、学級内の対応で、必要に応じて紹介することもあり得るという感じです。
渡す時期が難しいと思う。保護者の考えやその子の状態にもよると思う。	
6	親が取捨選択できない場合がある
	事例に応じて必要と思うときは紹介を考えるが・・・
	校内及び市内適応指導教室との対応をまず進めていきたいから
	今は相談機関に対応していただきうまくいっているから
	状況に応じて
	子どもが通う地域の適応教室とのつながりを持つことを優先的に考えていく。
	直接見せるのではなく、この中の情報を選んで紹介してゆくほうが、必要に応じた対応ができるように思うから。
	小冊子を渡すだけでなく、視点をしばって紹介する方がよいと思う。
	まず、スクールカウンセラー等の手段から入っていく
ケースによる	

	不登校児童生徒の保護者や本人がいつでもアクセスできるように、いろいろな所で、お知らせ(チラシ等)をお願いします。
	こんな機関等があることを職員自身が知らない場合も考えられる。まず初めに相談を受ける機関であろう学校が窓口になりたい。このパンフレットはそういう意味でもよいと思った。
	ネットワークの研修(土日)
	今後とも、ご尽力よろしくお願いします。
	三重県にこころ強いサポートが出来たとうれしく思います。学校内で対応出来ない重い問題が多くなっている現状、助けていただき、又、学校として努力していきたいと考えます。フォーラム等参加出来ればと思います。
	様々な方向からの支援を保護者ととも知り、その中からひとつでも力になっていけるものを見つけていく作業を続けていきたいです。
	昨年11月末に小冊子を送っていただいたことを気づかなかった?あるいは回ってこなかった?ため、今回はじめて冊子を見させていただきました。どこへ相談してよいか途方にくれている保護者も多いと思いますので、この冊子はとてもありがたいと思います。今後も新しい、その時その時の情報を発信していただければと思います。
	ご尽力に感謝しております。
	一步一步の誠実な歩みを見守らせていただきます。大変な御仕事とは思いますが、子どもや保護者のためにがんばってください。応援しております。
	本校には不登校の児童はいないが、困っている保護者や学校にはネットワークは必要だと思う。
	中学卒業後の進路に不安を感じる保護者・本人の支援の充実をのぞみます。
	ひきつづき、不登校に悩む保護者、子どもに向けての良き選択肢として尽力願いたいと思っています。
	情報がネットワークとしてつながっていることは、保護者にとっても教育関係者にとっても非常にありがたいことだと思う。
7	学校だけでは、対応できない部分を、支援ネットワークで支えていただけるという意味でとてもありがたいです。
	今、不登校の子や、保健室登校の子との関わりをさせてもらっている中で、よく、小中学校のうちはいいいけど、その先が・・・と、不安の声をきいたり、私自身もそう思います。子どもが自立できる支援体制を考えていただくこのネットワーク。ぜひ、これからも継続し、発展させていただきまますよう、お願いします。
	冊子、すごく参考になります・・・というか、一覧になっていて、わかりやすいです。
	市政だより等に載せていただいたり、回覧版等でまわしていただいたり市民の目に届くように広げていただけるとありがたいです。
	このようなネットワークがあることを定期的に紹介していただき、必要が生じた時、活用できるようにしていただきたい。
	たくさんの研修や、講演会をして頂き、研修を深める機会をもってほしいです。
	いろいろな子どもの状況に合わせた支援が必要だと感じています。このような、ネットワークがあることをリーフレット等で知ることにより、支援につなげることが出来ると思います。また、近隣にもあると、もっと利用しやすいと思います。
	桑名市にも、、ふれあい教室が、ネットワークとして支援センターに位置づけられているが、その機能の更なる充実を図って頂く様お願いしたい。
	経済的な理由で支援を受けることに戸惑いを覚える保護者も多いので無料か有料か、又有料であれば、その概算表示があれば、もっと活用させて頂けると思います。
	こういうネットワークを待っていました。義務教育の終了と同時に支援がどうしてもとぎれてしまいがちなので保護者にとっては何よりかと思ひます。
	不登校の子ども、保護者が抱える問題は様々で、それぞれに必要な支援が選択できるように、どのような機関や団体がどこにあるのか知れるのはとてもありがたいです。もっと周知されるように・・・と思います。
	「途切れない成長支援」に賛同しています
	個別の家庭への支援サポートがお世話になれるとありがたいです。